



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本コークス工業株式会社

コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鹿毛 和哉

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長

(氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,505	△15.0	△176	—	△357	—	△346	—
28年3月期第1四半期	21,768	△7.4	915	△16.2	678	△19.7	368	△32.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △357百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 373百万円 (△35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	△1.15	—
28年3月期第1四半期	1.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	109,125	—	40,265	—	37.0	—
28年3月期	113,804	—	41,226	—	36.3	—

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 40,392百万円 28年3月期 41,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の期末および合計の配当金額は未定です。

当社の利益配分に関する基本方針については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	39,700	△17.2	500	△74.4	100	△93.6	0	△100.0	0.00
通期	80,500	△13.0	1,200	△47.8	400	△66.0	200	—	0.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	302,349,449 株	28年3月期	302,349,449 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	629,983 株	28年3月期	629,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	301,719,500 株	28年3月期1Q	301,720,593 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成29年3月期の個別業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	35,000	△16.4	400	△75.6	300	△78.9	100	△93.6	0.33
通期	69,900	△13.6	600	△63.9	0	△100.0	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、中国を始めとするアジア新興国、資源国等の景気下振れ懸念などにより、景気が下押しされるリスクがあるなど、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べコークス販売価格が下落したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比32億6千3百万円減少の185億5百万円となりました。利益面では、コークス販売価格下落による利幅減少や、原油市場の低迷に伴う副産物販売価格の下落影響などから、連結営業損益は、1億7千6百万円の営業損失（前年同期は9億1千5百万円の営業利益）、連結経常損益は、3億5千7百万円の経常損失（前年同期は6億7千8百万円の経常利益）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前述の理由のほか、固定資産除却損の発生や法人税等の調整などにより、3億4千6百万円の純損失（前年同期は3億6千8百万円の純利益）となりました。

## (セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比13億2千1百万円減少の107億4千7百万円、営業損益は、3億5千9百万円の営業損失（前年同期は6億2千万円の営業利益）となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比14億7千1百万円減少の48億8千3百万円、営業利益は、前年同期比2億3千9百万円減少の3億2千9百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比5千万円減少の19億6千5百万円、営業利益は、前年同期比7千2百万円増加の1億2千1百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比4億2千万円減少の9億7百万円、営業利益は、前年同期比2千3百万円増加の3千3百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,091億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億7千9百万円減少となりました。増減の主なものは、現金及び預金の減少19億6千万円、原材料及び貯蔵品の減少10億6千8百万円、流動資産「その他」の減少9億1千9百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、688億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億1千8百万円減少となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少14億8千5百万円、流動負債「その他」の減少13億2千2百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、28年3月期の配当などにより、前連結会計年度末に比べ、9億6千1百万円減少の402億6千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、前回（平成28年5月13日）公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

また、配当につきましては、未定のままとさせていただきますが、当社の利益配分に関する基本方針としては、株主の皆様への還元ならびに将来の安定的な収益基盤確立のために必要な投資や財務体質強化のための内部留保について、業績および財務の状況を総合的に勘案したうえで適切に配分することとしており、株主の皆様への利益還元につきましては、上記の方針に加えて、継続的且つ長期安定的な配当を実施することが重要な課題であると認識しております。

つきましては、配当予想額の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、一部の連結子会社において、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,944	4,983
受取手形及び売掛金	8,873	8,505
商品及び製品	7,248	7,304
仕掛品	881	1,104
原材料及び貯蔵品	6,839	5,770
その他	4,080	3,160
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	34,849	30,810
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	81,201	81,976
減価償却累計額	△52,617	△54,167
機械装置及び運搬具 (純額)	28,583	27,809
土地	36,104	36,088
その他	22,803	22,958
減価償却累計額	△14,140	△14,298
その他 (純額)	8,662	8,659
有形固定資産合計	73,350	72,556
無形固定資産		
その他	545	558
無形固定資産合計	545	558
投資その他の資産		
その他	5,068	5,208
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	5,059	5,199
固定資産合計	78,955	78,314
資産合計	113,804	109,125

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,470	9,985
短期借入金	6,696	6,685
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	244	38
賞与引当金	815	346
関係会社整理損失引当金	387	387
受注損失引当金	2	8
事業整理損失引当金	123	99
その他	7,537	6,214
流動負債合計	27,292	23,779
固定負債		
社債	44	44
長期借入金	36,531	36,501
退職給付に係る負債	4,209	4,080
役員退職慰労引当金	48	48
環境対策引当金	3,001	3,001
事業整理損失引当金	199	195
その他	1,250	1,207
固定負債合計	45,284	45,080
負債合計	72,577	68,859
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	32,881	31,931
自己株式	△107	△107
株主資本合計	41,524	40,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	53
繰延ヘッジ損益	△159	△158
為替換算調整勘定	158	162
退職給付に係る調整累計額	△246	△240
その他の包括利益累計額合計	△174	△182
非支配株主持分	△123	△126
純資産合計	41,226	40,265
負債純資産合計	113,804	109,125



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	21,768	18,505
売上原価	19,419	17,392
売上総利益	2,349	1,112
販売費及び一般管理費	1,434	1,289
営業利益又は営業損失(△)	915	△176
営業外収益		
受取配当金	62	27
その他	28	28
営業外収益合計	91	56
営業外費用		
支払利息	122	123
環境対策引当金繰入額	43	46
その他	161	66
営業外費用合計	327	236
経常利益又は経常損失(△)	678	△357
特別利益		
固定資産売却益	63	10
関係会社株式売却益	46	32
その他	0	—
特別利益合計	110	42
特別損失		
固定資産除却損	256	160
その他	29	45
特別損失合計	285	205
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	502	△520
法人税、住民税及び事業税	252	34
法人税等調整額	△106	△205
法人税等合計	146	△171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	356	△349
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	368	△346

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	356	△349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△20
繰延ヘッジ損益	△4	1
為替換算調整勘定	7	4
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	16	△7
四半期包括利益	373	△357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385	△354
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,069	6,354	2,016	20,440	1,328	21,768	—	21,768
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	275	275	58	333	△333	—
計	12,069	6,354	2,291	20,715	1,386	22,102	△333	21,768
セグメント利益	620	569	48	1,238	9	1,248	△332	915

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△332百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△336百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	10,747	4,883	1,965	17,597	907	18,505	—	18,505
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	187	187	80	267	△267	—
計	10,747	4,883	2,153	17,784	988	18,773	△267	18,505
セグメント利益又は 損失(△)	△359	329	121	91	33	124	△301	△176

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△301百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△308百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。